

皆様いかがお過ごしでしょうか。いまだに猛暑が続いておりますが、夜に虫の声も随分聞こえるようにもなりましたのでもう少しの辛抱なのでしょうか？

さて、毎月第3木曜日に開催しております「薩摩のかくれ念仏勉強会」ですが、関連の深い本願寺八代御門主蓮如上人について学んでおります。蓮如上人は浄土真宗教団を一躍発展させ中興の祖として仰がれています。上人のことを本願寺学僧・稲城選恵和上は「蓮如上人がいらっしゃったから親鸞聖人が世に知られるようになった」おっしゃられましたし、作家の司馬遼太郎氏も同じ内容のことをエッセイ集に書いております。浄土真宗が薩摩藩（鹿児島県）へ伝わってきたことにも上人の影響が強く関係していると思われまします。

蓮如上人は室町時代1415年、第七代・存如宗主の長男としてご誕生されました。しかし、側室の子としてでした。やがて父存如上人が足利將軍家につかえる家から正妻を迎えることになる、上人の実の母は突然姿を消してしまいます。蓮如上人六歳のときでした。まだ物心つくかつかないか

というような歳での実母との別れです。

蓮如上人幼少期の本願寺は経済的にとても苦しく極貧というような生活をされておりました。家族と何人かの使用人が身を寄せ合って暮らしていたという状態であったそうです。経典を読む灯油が足りないで薪でしのぎ、月夜は月明かりで節約され、着るものも布子や紙子の粗末なものであったそうです。

当時の社会状況はというと、度重なる飢饉や疫病により多くの死体がうち捨てられ、また土一揆という農民を中心とした反乱も起こり乱世の時代に入っておりました。そのような中、蓮如上人はただひたすら教学に励んでおられました。本願寺の歴史学者、千葉乗隆師により「迫りくる生活苦と社会混乱の中での蓮如宗主の勉学は、単に学問研究のためではなくて、抜苦与樂の根源的な解決策である宗教的な信の確立のためにつづられた。」（【本願寺ものがたり】より）この「信の確立」といわれることこそがその後、本願寺八代目を継承された後、浄土真宗が全国に波及してゆくための伝道の要となりまし

た。

では、蓮如上人の伝道の中心的役割を担っていた手段とはなんであったのか？それは現代の私どもも拝読させて頂く『御文章』です。『御文章』は浄土真宗のみ教えをひらがなを多く用いてわかりやすく書かれているのが特徴ですが数百に及ぶ御文章の内容は一貫して「信心正因（信心一つで往生が決まる）」が説かれておりました。この御文章を当時年貢の拒否などで暴動に走る農民たちの集落である「惣（そう）」などに多数送りました。そこに本願寺と各地の農民集団との繋がりができあがってゆきます。

蓮如上人が教化なされた「信心」とは、自分で培ってきた知識や行いはすべて捨てて「おまえの生死の問題は解決済みであるぞ」と成就してくださった南無阿弥陀仏にすべておまかせするというものでした。それはもし今が臨終であっても浄土往生にまったく心配がいらぬということの意味しており「平生業成」といいます。この教えが、混乱で苦しむ人々に光をもたらしました。その後、惣からさらに信仰共同体である「講」に発展します。

## 薩摩のかくれ念仏勉強会

日時 令和2年9月17日(木)  
13時30分～受付  
14時～開始  
場所 タワーホール船堀  
江戸川区船堀4-1-1 402会議室  
参加費 一般500円 妙蓮寺クラブ会員無料

※次回10月15日(木)タワーホール船堀にて開催予定

## 秋の彼岸法要(築地本願寺にて)

日時 令和2年9月27日(日)  
14時30分～勤行「正信偈・和讃」  
〈読経中、各自お焼香を行っていただきます。〉  
15時10分～ ご法話 約30分  
講師 妙蓮寺住職 友岡晃二(釋栄玄)  
16時00分頃終了  
※14時15分頃、本堂階段下に寺の者がおります。

場所 築地本願寺 東日本間(本堂下1階奥の間)  
東京都中央区築地3-15-1「日比谷線築地駅」「駐車場有」

○感染対策のため時間を若干短縮しております。  
○よろしければ人数確認のためご一報いただきたく存じます。特にご家族でご参拝される方はご協力願います。

電話 03-6231-4733 携帯 090-6340-9040 メール harikyu.tomooka@gmail.com

## 7・8月の妙蓮寺



7/16 第1回かくれ念仏勉強会開催  
…換気機能付き空調の会議室(船堀タワー)で、事前に消毒を行っております。飲み物は各自ご用意お願い致します。少しでもご興味をお持ちになりましたら、是非ご参加下さい。お待ちしております。



8/18 千鳥ヶ淵公園戦没者墓苑参拝  
…毎年9/17の築地本願寺千鳥ヶ淵全戦没者法要は9/18中継動画配信となったため、個人で事前参拝。  
動画配信時間等、妙蓮寺クラブの方々へは後日お知らせいたします。



墓苑では、大賀蓮(古代蓮)が大きく花開いておりました。